

企業ステートメント

クラレグループ行動規範

クラレグループ人権方針

トップステートメント

サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画

サステナビリティ長期ビジョン

サステナビリティ推進体制

サステナビリティ中期計画 3Pモデル

GHG排出削減目標の新たな設定と重点施策

サステナビリティ中期計画 Planet

サステナビリティ中期計画 Product

サステナビリティ中期計画 People

クラレグループのマテリアリティ

Planet

Product

People

ガバナンス

GRIスタンダード対照表 (内容索引)

クラレレポート (統合報告書) / サステナビリティウェブサイト

ランドセルは海を越えて

イニシアティブ

サステナビリティ中期計画 Planet

サステナビリティ長期ビジョン



サステナビリティ推進体制



サステナビリティ中期計画 3Pモデル



GHG排出削減目標の新たな設定と重点施策



サステナビリティ中期計画 Planet



サステナビリティ中期計画 Product



サステナビリティ中期計画 People



- 環境負荷低減 / GHG排出削減(Scope 1、2)
- 環境負荷低減 / GHG排出削減(Scope 3)
- 環境負荷低減 / 省エネ・廃棄物・水資源・化学物質
- 気候変動への取り組み(TCFD)
- これまでの活動実績

環境負荷低減 / GHG排出削減(Scope 1、2)

>環境負荷低減/GHG排出削減の新たな目標はこちら

2024年のScope 1、2の総GHG排出量は2,868千トン-CO₂で、イソプレン関連製品の新規生産拠点であるタイ工場の本格稼働や米国の活性炭新設備の稼働により2023年比132千トン-CO₂増加しましたが、省エネ対策や生産効率化により目標としていた排出量、3,020千トン-CO₂ (排出量削減目標の基準年である2021年の実績値) を下回りました。また前年と同様に海外グループ会社での分離型エネルギー属性証明書 (再エネ証書) の購入による電力のグリーン化を進めました。

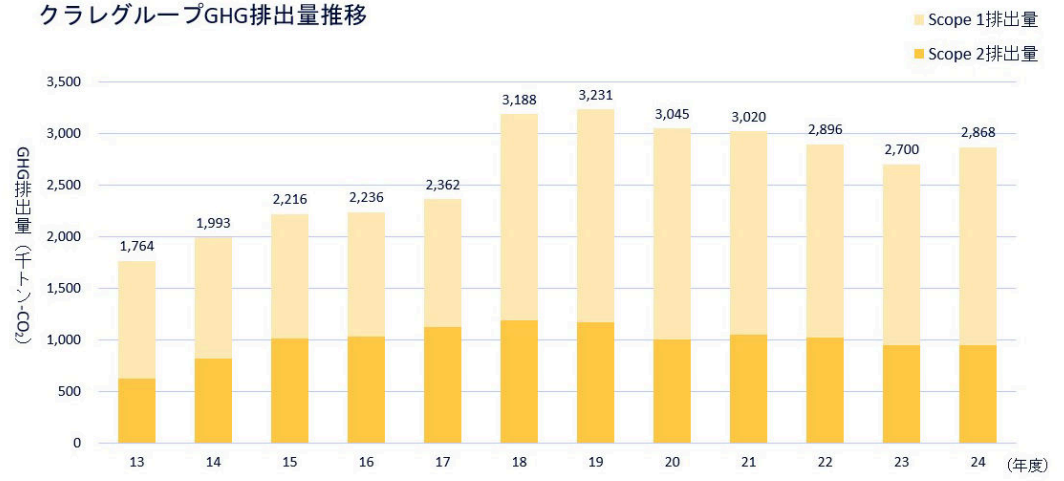
また、米国で石炭系活性炭の製造時に副生物として発生するCO₂の回収、有効利用、貯留 (CCUS[※]) を検討しています。組織横断型のプロジェクトチームを編成し、コーポレートプロジェクトとして開発を推進しています。2024年は、カルゴン・カーボン社の各工場の排出量に見合うCO₂回収設備の必要能力を算出し、設備導入に向けた試験の検討を実施しました。また、パールリバー工場周辺でのCO₂貯留プロジェクトをリスト化し、米国インフレ抑制法 (IRA) の適用可能性を含め選択肢の検討を進めました。

※ Carbon dioxide Capture, Utilization and Storageの略。分離したCO₂を利用・貯蔵する取り組み

国内では2023年に参画したGXリーグ[※]に、2023年4月から2024年3月に組み替えたGHG排出量実績を第三者保証を取得した上で報告しました。GXリーグへの参画により外部連携も視野に入れ、GHG排出量削減目標の達成を目指します。

※ GXリーグは、カーボンニュートラルへの移行に向けた挑戦を行う企業群が参画する官民連携の枠組み。

クラレグループGHG排出量推移



>詳細はPlanet 地球温暖化防止 地球温暖化防止/GHG排出量と削減の取り組み